

テレビ会議方式で実施

内堀福島県知事とテレビ懇談会

5月29日、内堀雅雄福島県知事と菅家町長、渡部教育長がテレビ懇談会を実施し、新型コロナウイルス感染症について意見を交わしました。

冒頭では、内堀知事から只見町の新型コロナウイルスへの取組への感謝が伝えられました。

また、菅家町長からは、町が抱える新型コロナウイルスに関連した医療関係や地域経済の問題点について報告され、内堀知事より、県と地域が連携し、対策に取り組んでいく旨が伝えられました。



▲タブレット端末を使用したテレビ懇談会の様子

只見町の子どもたちへ

手作り絵本の寄贈

6月9日、只見町大倉出身の山田絵美さんより、只見町教育委員会へ絵本10冊の寄贈がありました。

絵本は「しんかいのぼうけん」というタイトルで、ダイオウグソクムシやチョウチンアンコウたちが協力して、海の平和を取り戻すというお話です。

絵本の原案は、娘の神楽さんが考え、絵は、絵美さんが担当されたそうです。

絵本は、只見町の子ども達に楽しんで読んでほしいとの思いから寄贈され、町内の小学校、保育所、振興センター、診療所へ配布されました。



▲寄贈された絵本「しんかいのぼうけん」

只見町で活躍する方々に学ぶ

只見高校「総合的な探究の時間」

6月17日、地域で活躍する方を講師に迎え、只見高校1、2年生の「総合的な探究の時間」の授業を実施しました。この授業は、生徒が疑問に思ったことや地域課題への思い等について、探究していく過程を通して学ぶ力を身に付けるものです。

講師に、新国真也さん（新国農園）、目黒大地さん（目黒麴店）、脇坂斉弘さん（合同会社ねっか）、横田雄司さん（株式会社会津工場）、町職員など、10組が招かれ、町の文化や産業等の魅力、取り組みの経験について講話されました。

今後は、生徒たちが、講話を参考に探究したいテーマを決め、地域と連携しながら探究活動を行います。



▲真剣に講話をうける生徒たち

虫歯の
ない子

6月23日
3歳児検診



三瓶
流依くん(大倉)



遠藤
実梨さん(小林)